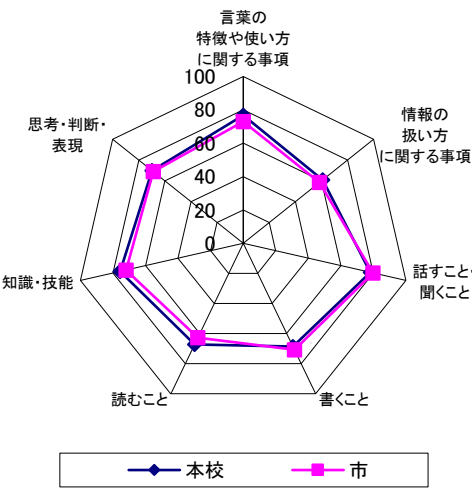


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に 関する事項	76.8	73.0	75.5
	情報の扱い方に 関する事項	60.9	58.5	59.0
	話すこと・聞くこと	78.1	79.8	75.9
	書くこと	68.6	70.7	71.7
	読むこと	67.2	62.8	62.5
観点別	知識・技能	75.6	72.0	74.4
	思考・判断・表現	69.8	69.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の 特徴や使い方 に関する事項	○「第5学年に配当されている漢字を正しく書いている」についてはどの字も市の正答率を上回っている。「第6学年の配当漢字の読み」については4問中3問は市の正答率を上回ったが、「創る」の読みは8ポイント下回っている。 ●「尊敬語について理解し、正しく使っている」については市の正答率を10ポイント以上上回ったものの、校内正答率は49.6ポイントと半数以下である。	・ドリル学習や毎週の漢字テストの成果が表れていると思われる。継続して定着を図っていく。 ・プリントや教科書の例題を使って敬語を復するとともに、日常生活や他教科の学習場面において、適正な敬語が使えるよう、繰り返し指導していく。
情報の 扱い方 に関する事項	○「情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単にまとめて書いている」では、60.9%で市の正答率を2.4ポイント上回っている。	・国語だけでなく社会や総合的な学習の時間でも、グラフや新聞記事などの資料から必要な情報を読み取り、文章にまとめる学習に取り組んできた。今後も引き続き指導していく。
話すこと・ 聞くこと	●「話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えている」では87.8%、「考えをまとめるための司会者の工夫を捉えている」では75.7%「互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、考えをまとめている」では70.9%で、いずれも市の正答率をやや下回っている。	・スピーチや授業中の発言などの友達や教師の話を聞く際には、話し手の意図を捉えながら聞くよう指導していく。 ・学級活動等の話し合い活動において、司会者役を経験させ、意見をまとめる力や会を進行する力を身に付けさせるようにする。
書くこと	○「考えを明確に伝えるための記述の工夫を捉えている」では、84.3%で市の正答率を2.4ポイント上回っている。 ●「指定された長さで文章を書いている」では、60.9%で市の正答率を6.3ポイント下回っている。「段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている」では60.9%で市の正答率を4.7ポイント下回っている。「自分の意見とその理由を明確にして書いている」では77.4%で市の正答率を5ポイント下回っている。	・文章を書く問題は、最後に出題されており、児童の中には時間が足りずに書き終わらなかった者もいた。 ・自分の意見と理由を明確にして書くことなどは、授業中指導してきたが、継続して指導し、定着を図っていく。 ・日常の書く場面で、文章構成を考えさせたり、条件を設定したりして、必要な分量の文章を書けるような経験を積み重ねていく。
読むこと	○「物語の全体像を具体的に想像している」では84.3%で市の正答率を3.6ポイント、「表現の効果を適切に考えている」では47.8%で市の正答率を8.6ポイント上回っている。 ○「文章全体の構成を考えている」では87.8%で市の正答率を3.9ポイント上回っている。 ●「登場人物の様子について、描写を基に捉えている」では76.5%で市の正答率を2.9ポイント下回っている。	・文章を読むことについては、おおむねできているが、登場人物の心情や様子を描写を基に捉えることができるようにするために、語句の意味を正確に理解させたり、登場人物の台詞や行動、情景描写を細かく読み取らせたりしていく。